



川遊びを楽しむ親子連れ



ぶなの森体験キャンプ



かじか橋には四阿も設けられている

DATA・BOARD ⑥

- ①山形県西置賜郡小国町大字五味沢
- ②面積：約40,000㎡
- ③JR米坂線小国駅からバスで25分、関越自動車道新潟西ICから車で約120分
- ④りふれ(宿泊・交流施設), 白い郷土の森, 朝日連峰, 大宮子易両神社, 金目そばの館ほか
- ⑤雪の学校・マタギと森のハイキング, 朝日連峰山開き, 魚のつかみどり, 国際文化フェスティバル, ぶなの森体験キャンプほか



6 白い森オートキャンプ場



小国町は、町域の大半をブナをはじめとする山林が占めている。このブナの幹の白と雪の白から町全体を白い森公園と位置づけ、交流と定住を基調にした新たな文化を創造するまちづくりを進めており、この「白い森オートキャンプ場」は、荒川の流域に整備されたものである。

施設は、できるだけ生態系を壊さず、利用者が小国町の自然を理解し、共に自然をつくり上げていけるように配慮して整備された。対岸の施設を利用できるように連絡橋かじか橋が設けられているため、キャンプだけではなく多彩な楽しみ方ができるようになっている。

かじか橋は、床板・高欄に杉材が使用され、川を眺められるバルコニーや四阿も設置されており、夜間も街灯や足下灯が集魚灯の役目を果たし川魚を眺められる。また、敷地内には自然の水路が存在していたため、この水路を活かして水が入れられ、水草や魚の姿を見ることが出来る。

施設一帯を利用しての体験キャンプや交流事業も展開されているほか、国際文化フェスティバルも開催され、文化交流においても活用される施設となっている。